

気象庁発表 全国1か月予報(平成31年1月3日発表)



	1/5~11	1/12~18	1/19~2/1
北日本	低い	平年並か高い	ほぼ平年並
東日本	平年並み	高い	平年並か高い
西日本	高い	高い	高い

(1/5~2/4まで)

# 謹賀 新年

謹んで初春のご祝詞を申し上げます  
旧年中は格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。  
本年も変わらぬお引き立てのほどよろしくお願いいたします。  
本年が良き年となりますよう皆様のご発展を祈念申し上げます。

2019年 元旦



## フィリピン 新ボホール空港に 航空気象観測システムを納入いたしました

フィリピン中部ボホール州パングラオ島に、国際基準を満たし、環境に配慮し、利便性と安全性の両立を図った新ボホール国際空港(パングラオ国際空港)が2018年11月に開港しました。

ボホール州は、山間部から周辺海域に至るまで豊かな自然が維持されており、同州を訪れる観光客は2001年の81,040人から2010年には334,212人に増加しています。これに伴い空港の年間旅客数も急激に増加しているが、タグビララン市の現空港は滑走路周辺が住宅密集地に囲まれており、拡張が困難な状況であることから、フィリピン国政府は、この新空港建設をドゥテルテ政権の「Build, Build, Build」プログラムの目玉プロジェクトの一つとして、JICA(国際協力機構)のODA(政府開発援助)による円借款事業として2015年6月から建設が行われました。

新空港は、2,500メートルの滑走路を有し、年間200万人の旅客に対応可能なターミナルビル及び空港特殊設備(旅客荷物搬送設備、航空地上照明、空港ナビゲーション設備、セキュリティ設備等)を備えています。ダイビングで有名なリゾート地の空港に相応しく、ターミナルビルの屋根は波型設計、空港内には豊富な造園・植樹を採用、また、「エコ・エアポート」のコンセプトの下、日本の優れた環境技術を活用して、太陽光発電システムの配備や、LED照明、高効率空調システムの設置など、環境に配慮した新空港となっています。



風向風速計



RVR(滑走路視程計)



管制塔

NEIでは、この新空港に国際基準に適合した航空気象観測システムを納入させて頂きました。滑走路両端に風向風速計を設置し、片側にシーロメータ(雲底高度計)、RVR(滑走路視程計)、気温湿度計、気圧計を設置、このデータを通信処理し、航空管制に必要な気象データとして管制塔、オペレーションルーム、ブリーフィングルームへ配信し、リアルタイムでモニター監視ができるようになっています。サンゴ礁などの観光資源に恵まれているフィリピンのボホール州では、今後の旅客数の増加が期待されていますが、弊社の観測システムが航空機の安全な離着陸を確保するための一助となっています。

本件に関する問合せ: info@nei.co.jp (株)日本エレクトリック・インスルメント